

北九州 市議会 だより

PRESS

No.168

平成17年1月1日号
(年4回発行)

新春号

主な内容

本会議での質疑・質問

意見書

請願・陳情

ページ

2~4

4

5

あけましておめでとございませう
今年も市民の皆様のご期待にこたえらるよう
議員一同力を尽くします。



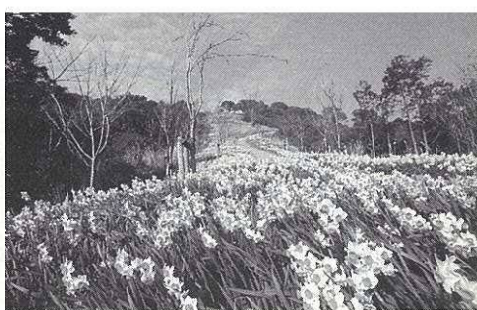
市議会の虚礼廃止にご理解を！

—— 公職選挙法では、次のようなことが禁止されています。 ——

- 議員や後援会が寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと
 - 議員や後援会がお歳暮やお中元をすること
 - 議員が年賀状や雪中見舞いなどのあいさつ状を出すこと
 - 市民や団体が議員に寄附などを求めること
- (自筆の答礼は除く)

このほか市議会では、祝電、弔電の自粛を申し合わせています。市民の皆様のご協力をお願いします。

平成17年2月9日任期満了に伴う北九州市議会議員一般選挙
告示日：1月21日(金) 選挙期日(投票日)：1月30日(日)



12月定例会

本会議での質問と答弁は、紙面の都合により要約したものを掲載しています。詳細は、2月下旬以降、各市立図書館において会議録でご覧いただけます。また、市議会のホームページの会議録検索システムでも3月中旬頃から閲覧できます。

本会議の質問と答弁

12月定例会は、12月6日から12月10日まで開かれました。市長から36件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を可決しました。また、議員から提出された議案は12件で、うち6件を可決しました。

本会議では、各会派から次の12人の議員が質疑・質問を行いました。(発言順。掲載記事の順番とは関係ありません。)

- | | | | | |
|----|----|----|----|--------------|
| 野平 | 依田 | 謙利 | 介利 | (日本共産党) |
| 田村 | 田村 | 勝勝 | 利昭 | (公明党) |
| 渡邊 | 村邊 | 貴貴 | 昭治 | (日本共産党) |
| 福宮 | 島田 | 讓讓 | 高代 | (自民市民クラブ) |
| 柳宮 | 田井 | 義信 | 誠光 | (社民市民連合) |
| 城柳 | 井戸 | 武信 | 誠光 | (北九州市民クラブ) |
| 三香 | 宅井 | 武信 | 誠光 | (ふくおがネットワーク) |
| 石田 | 月耕 | 耕耕 | 誠光 | (日本共産党) |
| | 田耕 | 耕耕 | 誠光 | (自民市民クラブ) |
| | | | | (新しい風) |
| | | | | (自民市民クラブ) |
| | | | | (日本共産党) |

平成18年11月1日付で、「北九州市議会自民市民クラブ」及び「北九州市議会自由民主党議員団」の両会派が解散し、新たに「北九州市議会自由民主党・市民クラブ」(自民市民クラブ)が結成されました。

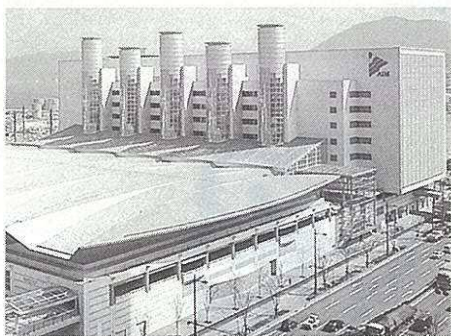
子育て支援施設の整備について

議員 子育てを支援するための拠点施設を整備することのだが、子どもや親が通いやすいように、各区ごとに整備すべきではないか。

保健福祉局長 本市では、地域・区・市のレベルにおいて、様々な子育て支援施策に取り組んできた。

しかし、保育所や幼稚園に子どもを預けていない母親は、子育ての不安や孤立感による精神的負担が大きく、子どもにも影響を与えることがわかった。このような課題を解決するため、これまで取組の対象となっていなかった親子や地域活動を支援する拠点施設として、(仮称)子育て支援プラザをA・M・ビルに三階に整備することとした。

今後は、この施設を中心に、地域・区・市が一体となり、子育て家庭の不安を解消し、安心して子育てができるまちづくりをすすめていきたい。



AIM (アジア太平洋インポートマート)

リサイクル促進によってごみの減量を!

議員 ごみ袋代の値上げが検討されているが、値上げによってごみの減量化を図るよりも、リサイクルの促進で、減量をすべきではないか。

環境局長 平成十年七月の有料ごみ袋制度の導入により、年間約二万トンの一般ごみが減少した。また、全国の自治体のうち七十三%が有料化を導入しており、これらを対象にした調査でも、減

量効果が確認されている。

他都市では、積極的にリサイクルに取り組んだ結果、ごみの減量効果も出たが、その反面、経費は増加した例もある。ごみ処理にあたっては、リサイクルの促進だけではなく、収集や最終処分、リサイクルに係る経費など全体の費用を把握した上で、最適な対策を講じることが重要と考えている。

本市では、古紙回収への奨励金の交付、リサイクル活動への支援などを行っており、今後もごみの減量化やリサイクル促進を強化していきたい。

救急医療体制の見直しについて

見直しについて

議員 患者の減少にともない、夜間・休日急患センターの深夜帯や休日急患診療所の廃止が議論されている。市民が安心できる救急医療体制をつくるためにも、廃止すべきではないと考えるが、見解を尋ねる。

保健福祉局長 今回の初期救急医療体制の見直しは、市民要

望の高い小児救急センターの開設や市内医療機関の救急医療体制の充実、急患センターの患者数の減少などにもない、実施するものである。

この見直しにより、周辺に医療機関の少ない門司・若松休日急患診療所の医療設備の充実などが可能となる。

今後は、医療機関の紹介や医療相談に応じるテレフォンセンターの充実を図るなど、救急医療体制の一層の強化に取り組みたい。

若戸大橋の引き継ぎについて

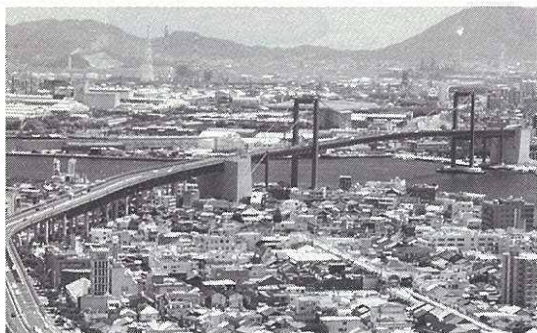
▼通行料金の値下げ▲

議員 若戸大橋が日本道路公団から市に引き継がれるとの報道があったが、通行料金の値下げ時期や値下げ幅について尋ねる。

市長 若戸大橋の公団からの引き継ぎと通行料金の値下げについて、国と協議を重ねてきた。その結果、早期に値下げができる方法として、①若戸大橋と新若戸道路を一体的に管理する

道路公社を新設する、②設立までの間は、若戸大橋を有料道路として市が一旦、引き継ぐ、という案がまとまり、国から内諾を得た。今後は、最大の課題である譲渡価格等について、道路公団と協議していきたい。

なお、値下げの時期については、平成十八年度の早い時期を目標としている。値下げ幅の提示については、譲渡価格や償還計画を詰める必要があることから、しばらく時間がかかる。



若戸大橋

指定管理者の選定について

▼市立図書館▲

議員 市立図書館に導入される指定管理者の決定について、選定の経緯や基準、理由を尋ねる。また、選定の経緯を市政たより等に掲載し、公表すべきではないか。

教育長 指定管理者は、企画提案を公募し、学識経験者で構成する選定委員会において審査を行い、候補者を選定した。その結果に基づき、教育委員会が候補者を決定した。

選定基準のポイントは、①公立図書館運営についての考え方、②専門性の確保、③プライベートの保護、④地域との連携、⑤民間の利点を活かしたサービスなどである。

選定の経緯については、透明性の確保が重要であると考えている。今後、公表内容や方法について検討したうえで、必要な資料は公開していきたい。



国際友好記念図書館

黒崎再生策の早期具体化を！

議員 コムシティの破綻など厳しい状況が続いている黒崎の再生策を一日も早く具体化するべきである。今後どのように計画を推進するのか尋ねる。

建築都 黒崎副都心 「一人が住るまち」に再生するため、地元と市が一体となって、黒崎再生十力年計画を策定した。

口でも、旧厚生年金病院跡地の整備は、副都心としての新たな魅力づくりや文化の振興など、黒崎の再生に大変重要であり、地元商店街の活性化にも大いに寄与するものと考えている。そのため、旧厚生年金病院の解体については、平成十七年度には工事に着手できるように、社会保険庁と協議していきたい。

なお、この地区は市民の関心が高いことから、整備のあり方について幅広く意見を聞くことが重要であると考えている。

今後は、地元が行ったアンケート結果も含めて、議論を行い、平成十九年度ごろを目標に整備に着手する計画である。

理解を深める取組を！

▼地域づくり▲

議員 本市では、まちづくり協議会の育成などの地域づくりを行っているが、市民の理解を深める取組をさらに進めるべきではないか。

本年度は、市内十一の校区でこのモデル事業に取り組んでいるが、各団体間の相互理解が深まることも、校区としての連帯感が生まれるなどの成果が報告されている。この提案について市民の理解を得るため、各校区への出前講演の実施や、特色ある地域活動を紹介した事例集を配布した。

今後も市民の理解を得る努力を続け、モデル校区の拡大を働きかけるなど、地域づくりへの支援を行っていききたい。

世界の環境首都実現へ向けて

▼環境先進都市を訪問して▲

議員 ドイツ・イタリアの環境先進地視察には、市長も同行したと聞くが、その感想と環境首都を目指すための今後の取組を尋ねる。

今回の視察は、市民や企業等と、ドイツの環境首都と呼ばれるフライブルク市

などを訪問し、関係施設の視察や市民、NPO等との情報交換や交流会などを行った。

参考となった点は、①市民、NPOが自分のまちに強い自信と誇りを持っていること、②自分のまちの情報を上手に整理し発信していること、③景観保全に努力を払っていること、④環境行動を支える社会的な仕組みが整っていること、などである。

視察の感想を一言でまとめると、本市には様々な地域資源や人材があり、これらの資産や能力を活かして「世界の環境首都は遠くない」ということである。

今後は、環境情報を発信することや、環境首都を支える人づくりに力を入れていきたい。



環境首都視察の様相

北九州空港跡地の有効活用を！

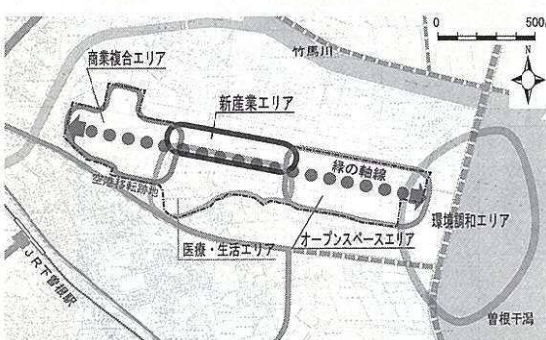
有効活用を！

め、曾根干潟とともに有効活用すべきではないか。

市長 現空港の用途廃止後の利活用については、現在、国において議論されている。市としては、平成十六年十月に現空港跡地の基本的な土地利用の考え方を国に示した。

これは、地域固有の自然環境である曾根干潟を活用し、「干潟と暮らす環のまちづくり」を基本理念としている。テーマとしては、①人と自然が共生するまち、②多世代が安全・安心して暮らせるまち、③多様な就業機会を提供するまち、の三つを設定している。

現空港跡地は小倉南区だけでなく、市全体にとって重要な土地である。今後は、具体的な利用計画や開発手法、ならびに民間事業者の開発意向調査などが必要である。地元や関係住民との合意形成を図りながら、まちづくりに取り組んでいきたい。



北九州空港移転跡地利用まちづくり構想

三位一体改革について

議員 政府・与党が決定した三位一体改革の全体像について、市長の評価と今後の対応を尋ねる。

市長 今回の決定にあたって、①地方公共団体が大同団結して改革案を提案したこと、②政府・与党において真摯に議論がなされたこと、③総務大臣等が地方の立場で主張してくれたことは、これまでにないことであり評価している。

内容については、三兆円規模の税源移譲を明記したことなどは評価できる。しかし、義務教育国庫負担金の扱いや、生活保護費負担金など地方が強く反対した負担率の見直しを来年度検討すると明記するなど、あいまいにして先送りされた点があり、三位一体改革の理念に反しかねない内容を含んでいることが懸念される。

今後、生活保護費負担金等の負担率の引き下げや地方交付税の総額確保について注視する必要があると考えている。さらに、三位一体の改革の理念が貫徹されるよう、引き続き必要な意見表明等を行っていく考えである。

スポーツ活動奨励校の指定を！

議員 スポーツ活動で優秀な成績を収めた生徒が市

外に流出している。流出を止めるために、スポーツ活動奨励校を指定し、専門学科や履修コースの設置を検討してはどうか。

教育長 これまでも、全国大会等で優秀な成績を収めた中学生が、市外の高等学校へ進学した例がある。また、全国的には、スポーツ活動が地域の特徴づくりに寄与している例もあることから、スポーツ活動を奨励する公立学校の必要性について、教育の北九州方式検討会議で審議している。

中間報告では、スポーツで顕著な実績のある戸畑商業高等学校に、スポーツに力点を置いた学科内コースの設置が提案された。その後の市民からの意見募集では、①特待生制度の確立など広く生徒を集める工夫が必要、②学校に与える影響を十分に検討すること、などが寄せられている。

今後は、年度内に出色される答申を踏まえ、スポーツを奨励する公立学校について検討していきたい。



女子第15回全国高等学校駅伝競走大会で6位入賞した戸畑商業高等学校の選手たち

地震対策の啓発は？

議員 本市では、地震に対する危機管理が十分ではないと考えられる。企業や市民に対する指導や啓発をどのように進めているのか。

消防局長 地震による被害を最小限にとどめるには、市民の防災意識の高揚と地域での自主的な防災活動が不可欠である。そのため、①震災対策を説明したパンフレットの配布、②市内全校区に結成された市民防災会に対する指導、③民間企業や市民が参加する各種訓練、などを実施している。

また、建築物の耐震診断や耐震改修への意識を高めるため、耐震改修に関するパンフレットの配布やセミナーの開催、さらに、木造住宅に関する簡易自己診断の説明などを行っている。

新潟県中越地震の発生により、市民の関心が高まっているこの機会を捉え、市政たよりに震災対策を特集し、啓発を行うこととして

他に、次の項目にわたっても議論がありました

- 港湾整備等について
- ホームレス自立支援センターについて
- 交通政策等について

可決した意見書

市議会では、市政や市民の皆さんの生活にかかわりの深い事柄について改善等を求めるため、意見書や決議を国などへ提出することがあります。今定例会では、11件の意見書が提出され、うち5件を可決しました。その件名等をご紹介します。

○食料・農業・農村基本計画の見直しに関する意見書

(要旨) 農業の再生・発展のため、食料自給率の引き上げとともに、食の安全・安定に結びつく施策を展開するよう政府に要請するもの。

○高齢者虐待防止法の制定を求める意見書

(要旨) 高齢者虐待防止のための具体的な対策を早急に実現するため、法律の制定を国会及び政府に要請するもの。

○大規模災害の対策と早期復旧に関する意見書

(要旨) 被災地のライフラインの復旧や被災者への支援に力を注ぐとともに、地震防災策の見直しを行うことなどを国会及び政府に要請するもの。

○新潟県中越地震による被災者支援に関する意見書

(要旨) 被災者の支援にあたっては、避難生活による健康悪化を防ぐために医療・保健体制を強化することなどを政府に要請するもの。

○人権侵害の救済に関する法律の制定を求める意見書

(要旨) 憲法に保障された基本的人権を確立するため、人権侵害の救済に関する法律の早期制定を国会及び政府に要請するもの。

大正町 ⑧ 野村基本計画の見直しに関する意見書
 女⑦ 法のちからをいかに活かすか
 女⑥ 被災者の生活再建支援法
 女⑤ 被災者の生活再建支援法
 女④ 被災者の生活再建支援法
 女③ 被災者の生活再建支援法
 女② 被災者の生活再建支援法
 女① 被災者の生活再建支援法

11月22日に若松高等学校の1年生約240人が市議会を訪れ、本会議場を見学しました。その模様をお伝えします。



①早速、本会議場へ！



この椅子回転するよ！

若松高校のみなさん
ようこそ市議会へ！
市議会というのは…

なかなか快適ね。

ここで市の予算や条例を決めるのね。

②いろんな質問が出ました。



この席はどうやって決まっているのかな…？

傍聴者はどのくらい来るのかな？

次の定例会って、いつあるの？

③以上で終了。次回はぜひ傍聴に来てください。



あっ、上にカメラがあるよ！

ケーブルテレビ
本会議をCATVで
中継してるんだって。

ちなみに、議長席からの眺めはこんな感じです。



傍聴者席

記者席

議員席

速記者席

演壇

議長席

あなたも議事堂を見学してみませんか？

- ・本会議や委員会が開催されていないときに見学ができます。
- ・見学時間は午前8時30分から午後5時(土・日・祝日を除く)です。
- ・見学を希望する日時、人数をご連絡ください。

【問い合わせ先】市議会事務局総務課 ☎582-2621

平成16年の本会議・委員会の傍聴者数は2,401人、議事堂見学者数は620人でした。

請願・陳情の審議結果

○陳情「JR下曾根駅のバリアフリー化の促進について」のうち第二項及び第三項 **採択**

○陳情「北九州市個人情報保護条例の改正について」 **不採択**

○陳情「北九州市個人情報保護条例の改正等について」のうち第二項及び第三項 **不採択**

○陳情「陳情審査方法の改善について」 **不採択**

○陳情「市立図書館への指定管理者制度導入の凍結について」 **不採択**

○陳情「市立図書館への指定管理者制度導入の中止について」 **不採択**

このほか、請願41件、陳情90件が継続審査になりました。

お知らせ

▼市議会では、視覚障害（一級か二級）のある方に、市議会たよりの点字版、または録音テープを無料でお届けしています。

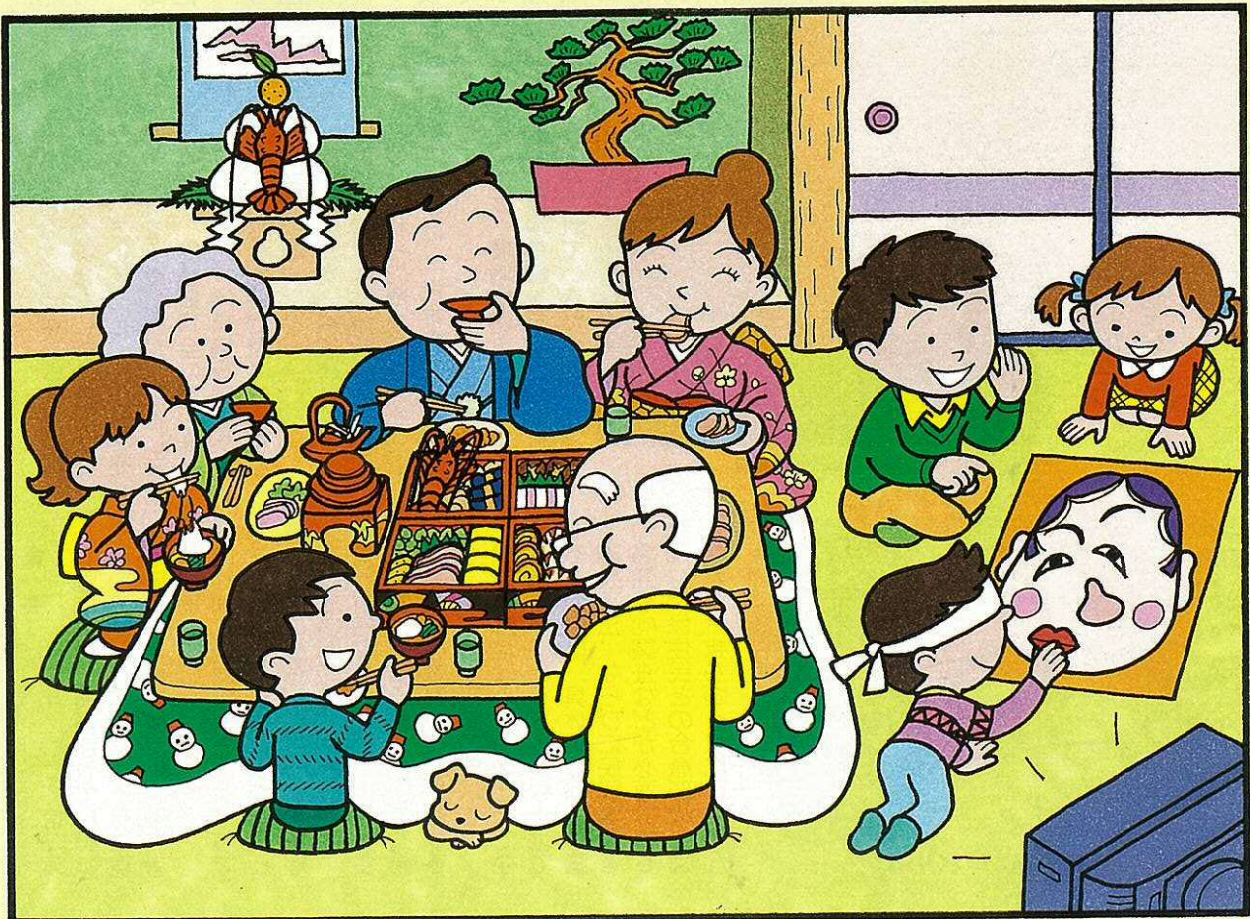
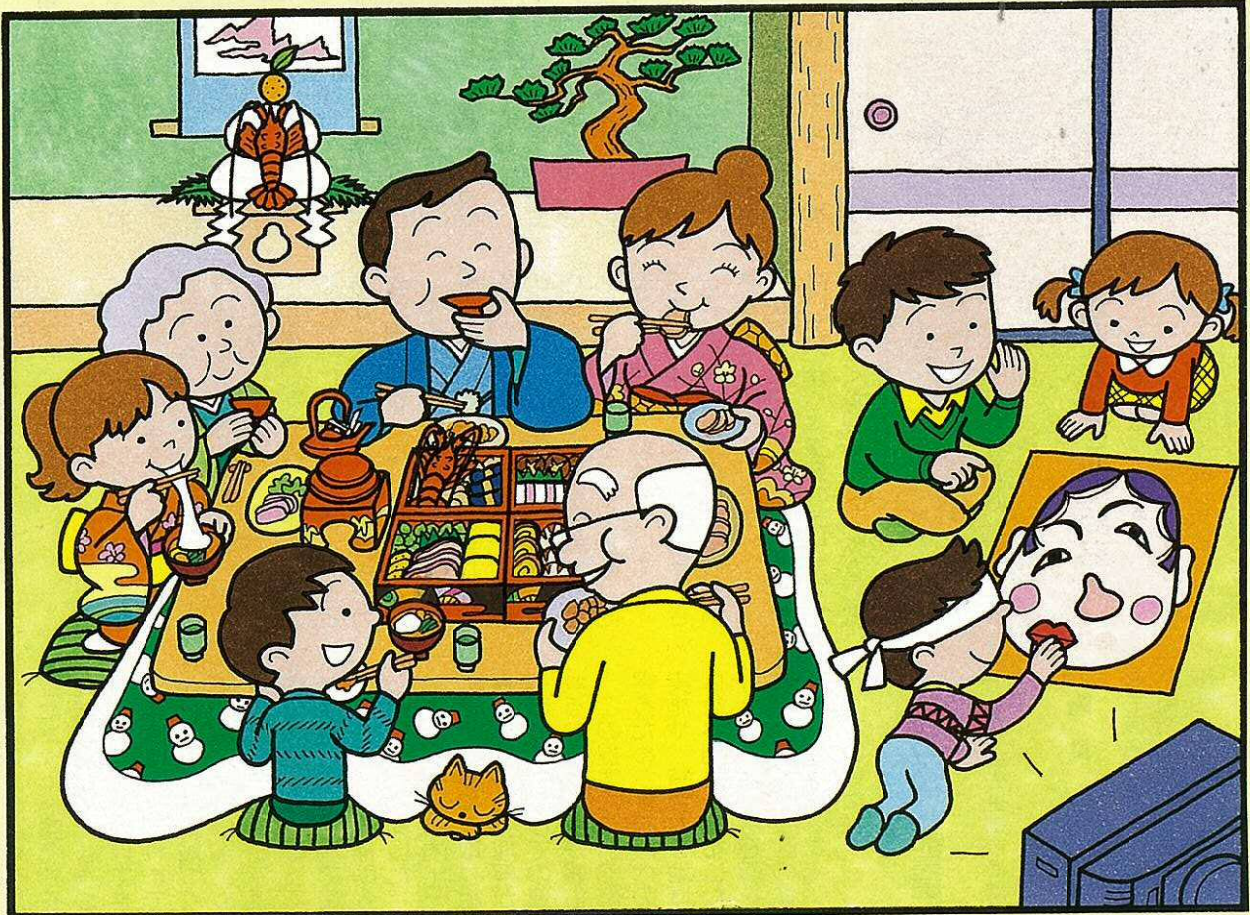
ご希望の方は、ご連絡ください。

▼市議会たよりに関するご意見やご感想をお寄せください。

▼次の定例会は二月開催予定です。

8つのまちがいさがし

上と下の2つの絵には、間違いが8つあります。さて、わかりますか？



(答えは4ページにあります。)